



ホストタウンとは

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図るとともに、スポーツ振興や教育文化の向上、地域活性化等を目的とする各種事業を展開する地方公共団体を国が「ホストタウン」として登録するものです。

貝塚市は、台湾を相手地域とし、女子卓球競技を種目として、平成30年8月31日に登録されました。

次号の「ホストタウン事業だより」は、東京2020大会延期後の大会日程が決まり、お伝えする情報が整いしだい発行します。

東京2020オリンピック競技大会および オリンピック聖火リレー延期のお知らせ

3月24日、世界的な新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、東京2020大会の開催について、日本国政府、東京オリンピックパラリンピック競技大会組織委員会、東京都と国際オリンピック委員会（IOC）が会談し、IOCは東京2020大会の延期を決定しました。

これに伴い、3月26日福島県からスタートを予定されていた東京2020オリンピック聖火リレーは全て延期とし、今後の対応が検討されることとなりました。今後、延期後の大会日程に合わせて、新たな聖火リレーの日程が定められます。

貝塚市においても、4月15日に聖火リレーを行う予定でしたが延期となりました。56年ぶりに行われる聖火リレーを楽しみにされていたことと思いますが、日を改めて聖火リレーが本市を通過する際、安全な状況で安心して市民のみなさんとともに盛り上げていけるよう準備していきますので、ご理解ご協力をお願いいたします。



なお、東京2020大会開会日までの日数と応援メッセージを記したカウントダウンボードをオリンピック開催500日前から市内5か所に設置していましたが、大会延期により現在一時的に掲示を休止しています。大会日程が決定し、カウントダウン再開の準備が整うまで、しばらくお待ちください。

卓球が男子・女子ともに正式競技としてオリンピックに登場したのはソウル 1988大会。当初は男女それぞれの選手が、1対1で戦う「シングルス」と、2対2で戦う「ダブルス」から始まり、北京2008大会では男女「シングルス」と男女それぞれ3人1組のチームで戦う「団体」が実施されました。

卓球全日本チームのオリンピックでの戦績は、女子団体のロンドン 2012大会銀メダル、リオデジャネイロ 2016大会銅メダル、リオデジャネイロ 2016大会での男子団体銀メダルおよび水谷隼選手シングルス銅メダルを獲得しています。

「シングルス」「ダブルス」の試合形式は、1 ゲーム 11 ポイントの 7 ゲームマッチで 4 ゲーム先取した選手が勝利。「団体」では、シングルスとダブルスを組み合わせた 5 試合で 3 試合を先取したチームが勝者となります。（団体戦それぞれの試合は 5 ゲームマッチで 3 ゲームを先取した選手が勝利となります。）

トップレベルの選手が放つボールの速度は時速100km以上にもなり、幅152.5cm長さ 274cmという狭い台の上で繰り広げられる攻防は、その圧倒的なスピードと迫力に観る者は引き込まれてしまいます。

東京2020大会では、男女「シングルス」と男女「団体」、男女ペアで戦う「ダブルス(混合)」が実施予定となっています。

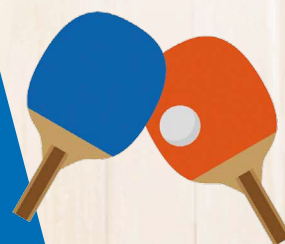
オリンピック競技

卓球



卓球の起源は？

諸説ありますが、19世紀後半にテニスが大流行していたイギリスで、雨天時に食堂のテーブルをコートに見立てテニスの真似事をしたのが始まりといわれ、そのまま「テーブルテニス」の呼び名がついたそうです。当初の用具はラケットに葉巻入れのフタ、ボールにはシャンパンのコルクを丸めたものを使っていました。現在は、木製の版に特殊ゴム（ラバー）が貼られたラケット、プラスチック製のボールが使われています。



日本生命レッドエルフを応援しよう!!

Tリーグ2019-2020 レギュラーシーズン1位が決定！

2年目を迎えた今シーズンのTリーグは各チームとも選手を補強し、序盤はどのチームが上位になるかわからない混戦状況でした。しかし、中盤以後は地力のある昨年のプレーオフ進出の2チーム、日本生命レッドエルフと木下アビエル神奈川が抜け出し、日本生命レッドエルフが1位でシーズンを終了しました。シーズン成績1位の日本生命レッドエルフと2位の木下アビエル神奈川が「プレーオフファイナル」というシーズン最終戦を戦い、今シーズンの優勝を決めることとなります。新型コロナウイルスの影響で、プレーオフファイナルの開催が延期となっていますが、2シーズン連覇を目指す日本生命レッドエルフを市民のみなさんで応援していきましょう。

Tリーグ 2019-2020 シーズン成績

	チーム名	試合数	勝点	勝利	敗戦
1	日本生命レッドエルフ	21	51	14	7
2	木下アビエル神奈川	21	43	13	8
3	トップおとめピンポンズ	21	31	8	13
4	日本ペイントマレッツ	21	29	7	14

*勝点の多い順に順位が決定します。

今シーズンは、シングルスで森さくら選手がマッチ勝利数14で全選手中1位となり、ほかにも上位10位以内に早田ひな選手、田志希選手（韓国）、于夢雨選手（シンガポール）、陳思羽選手（台湾）が入りました。また、ダブルスでは前田美優選手が1位となり、今シーズンデビューの赤江夏星選手（ジュニアアシスト卓球アカデミー）が前田選手とのペアで3勝（シングルス1勝）を挙げ、東京2020オリンピック代表内定の平野美宇選手はシ



第1 マッチの森・前田ペアはストレート勝ち！

ングルス 3戦3勝、ダブルス 3戦2勝と大活躍をしました。今シーズンデビューの皆川優香選手（ジュニアアシスト卓球アカデミー）は残念ながら初勝利を達成できませんでしたが、于夢雨選手とのペアでの活躍が期待され、来シーズンが楽しみとなっています。



第3 マッチの赤江、ベテランの相手選手との接戦を制して勝利！



結果は3-1で、レッドエルフのレギュラーシーズン1位が確定しました。おめでとう!!

*写真は全て2月15日のトップおとめピンポンズ名古屋戦の様子

今年、新たにレッドエルフに加入した選手をご紹介します。

- ①名前 ②背番号
③出身地 ④メッセージ



- ①麻生 麗名
②8
③長崎県
④Tリーグに貢献できるように頑張ります。